

1 目的

本校では、『つながり』を意識した実践を学校目標に掲げてきました。『つながり』は、児童と教職員、そして、保護者や地域との連携だけでなく、児童同士のつながり、上級生から下級生へのつながり、また、学習や行事等をつなぎ、児童個々の内面での成長などに関わる言葉です。さらに『つながり』を継続的に意識させることで、やがては、綿々と続く学校の文化・伝統として引き継がれるものと考えています。

2 内容

(1) 児童個々の成長をつなぐ

ア 繰り返し学習

昨年度末、学習のまとめを十分にすることもできていない中での突然の臨時休校、読み・書き・計算が学習の定着を図る上で土台として不可欠なものであることを再確認しました。そこで、本年度も週の計画に位置づけた朝学習において、既習事項を確実に積み重ねるよう、児童の実態に合わせ、学年ごとに工夫して反復練習に力を注いできました。また、各教科において既習内容を活用し発展課題にも取り組めるよう授業展開を工夫して取り組みました。

イ 指導力向上

4月、教育研究（道徳）の進め方について、浅井厚視先生を講師に迎えて職員の校内研修会を行いました。どんな子どもたちを育成したいかを明確にして進めることが大切であること、手立てを一つ、二つに絞って取り組むことが効果的であることを助言いただきました。また、個の変容・全体（集団）の変容について、数的根拠をもとに分析しながら研究を進めることで、成果が明確になることもご示唆いただき、職員が共通理解のもと研究を推進することができました。この学びは他教科の指導にも生かせるもので、少経験者にとって指導の方向性が明らかになりました。

(2) 心や命をつなぐ

ア 人権教育

童話作家・シンガーソングライターである、こんのひとみさんを講師に迎えて人権講演会を実施しました。ご自身も闘病中で大変な状況の中、子どもたちに命の尊さを訴えかけ、明日は何が起きるか分からないからこそ今日という日を大切にしてほしい、周りで支えてくれている人に感謝を忘れないでほしいなど、当たり前に思えることも決して当たり前のことではなく、とても大切なことと、歌や語りで伝えてくださいました。子どもたちは真剣な眼差しで、こんのさんを見つめたり、時には涙したりする姿が見られ心の教育のよい機会となりました。



【かあさんのこもりうたの朗読】

イ キャリア教育

6年生を対象に地域で働く方々を講師として10月に8名お招きして働くこと、そし

て、自分の仕事に対する誇りなどについて講話をしていただきました。今年度は、子どもたちが興味・関心をもっている職種の方々の話を、直接聞けるよう昨年度よりも講師の人数を増やして実施しました。子どもたちにとって関心のある職業の講話は、自分の将来を見通すための貴重な情報となり、熱心に聞き入り進んで質問をするなど、有意義な時間を過ごすことができました。この経験を通して子どもたちの職業選択の幅が広がり、今の自分を見つめ直させ、生き方について深く考えさせる場となりました。

ウ 歯科指導

本校が歯科指導に力を注ぎ始め14年目になりました。コロナ禍で、だ液感染の心配があり、例年実施している口腔写真を撮影することができませんでした。しかし、磨き残し場所を確認するため、染め出しを家庭で事前に行い、実態を把握した上で夏休み明けに歯科医と歯科衛生士による歯科指導をクラスごとに実施しました。口腔内を清潔にすることで、ウイルス感染を予防できることや歯の健康を保つことが身体全体の健康につながるなどについて考える場としました。児童の口腔の状態は他校よりもよい状況ではあるが、コロナ禍で休校中の歯みがきの習慣が乱れてしまっている児童も少なからず出てきました。これまで積み重ねてきた成果が崩れないように努めていきたいと思います。



【健康な歯についての説明】

エ プログラミング教育

情報教育アドバイザーの塚本まゆさんを講師に招き、プログラミング教育の進め方について、教科の扱い方や授業の指導法について研修を行いました。実際に子どもたちがどのように操作でき、何をどのように理解することができるのかを確認することができ、教師の力量向上につながりました。

3 評価

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教育活動に制限がある中で内容を変更して実施してきました。この状況下において、子どもたちが抱える心のストレスは想像以上のものであると感じながら、子どもたちの安全を第一優先にと職員が共通理解のもと、教育活動内容を工夫したり、学校生活環境を整えたりしてきました。

本年度は、Q-Uの結果を受け二者懇談（教師と児童）を実施して児童理解に努めることで、交友関係の悩みを早期発見することができ、早期に対応することができました。また、学習面において、学びの変容を記録することに努め、個々の成長を確認することができました。この取組を通して、児童一人一人の成長へとつなげていくことができました。

また、地域人材の活用や講師による研修会により、児童の成長を支える教師の指導力を高めることにもつながりました。

4 課題

次年度も安全で安心できる学校づくりを目指す中で、子どもたち一人一人が多くの学びができるよう、教職員、保護者、そして地域と連携・協働しながら、児童の実態に合った教育活動を模索していきたいと考えます。